

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議

第八回本会議

令和 7 年 2 月 19 日 (水)

(議事次第)

議題

1. 令和 7 年度学園祭学生分担金の額及び納入方法について
2. 選挙に関する全代会規定の制定について

タイムテーブル

当日の時刻	予定した日程
18:45	開会
18:45~19:10	出欠確認・資料確認
19:10-19:19	議題 1
19:19-19:36	議題 1 の採決
19:36-19:40	議題 2
19:40-19:46	議題 2 の採決
20:06	散会

出席者

学類等代表者 42 名 詳細省略

資料一覧

議題 1 「令和 7 年度学園祭学生分担金の額及び納入方法について」

- ・議案書「令和 7 年度学園祭学生分担金の額及び納入方法について」 P24015-00
- ・資料 01 「学園祭学生分担金の額及び納入方法について」 P24015-01
- ・資料 02 「学園祭学生分担金支払い方法についての参考資料」 P24015-02

議題 2 「選挙に関する全代会規定の制定について」

- ・議案書「選挙に関する全代会規定の制定について」 P24016-00
- ・資料 01 「『全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議について』改正案」 P24016-01
- ・資料 02 「全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議 選挙細則」 P24016-02
- ・資料 03 「『全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議について』新旧対照表」 P24016-03
- ・資料 04 「学長決定『筑波大学の学生組織等について』」 P24016-04
- ・資料 05 「副学長決定『筑波大学における学生の組織及びクラス連絡会等について』」 P24016-05

○近藤 拓末 (議長)

出席確認を行う。各学類・専門学群の代表者は順次確認された。オンラインでの参加者も含め、本会議の開会には過半数である 40 名の出席が必要となる。

現在の出席者数は 30 名である。過半数に達するまで少々お待ちいただきたい。同じ学類の代表者や代理出席が可能な方がいらっしゃれば、声かけをお願いする。

○近藤 拓末 (議長)

ただいまの出席者数は 34 名となっている。引き続き出席確認を行う。

○近藤 拓末 (議長)

ただいまの出席者数は 38 名である。本会議の開会には 40 名以上の出席が必要となっている。

○近藤 拓末 (議長)

遅くなり申し訳ない。ただいま出席者数が 41 名で過半数に到達したので、これから本会議を開会する。改めて今日お集まりいただきありがとう。

○近藤 拓末 (議長)

では、まず議題 1 から入る。議題 1 の提出者である学内行事委員会委員長の國崎に説明をお願いする。

○國崎 沙和子 (学内行事委員会)

議題 1、資料 00 をご覧いただきたい。こちらにある通り、本議案は令和 7 年度入学生における学園祭分担金の額および納入方法について、当該学園祭に関する申し合わせ第 3 項に基づき、令和 7 年度筑波大学学園祭学生分担金額および納入方法の承認を図るものである。資料 01 に関しては学園祭学生分担金額および納入方法について副学長に報告するものとなっている。また、資料 02 については学園祭分担金の納入方法の変更に関して、その理由と現状が記載されているものになる。

参考人である筑波大学学園祭実行委員会の方から何か補足説明等があればお願いする。

○近藤 拓末 (議長)

参考人からの説明はないということで、これから質疑応答に移る。質問等がある方は手を挙げていただきたい。

○高橋 蓮 (人文学類)

まず、対面での収集に切り替えるという話だと思うが、振り込み式での収集率が 88% ということで、以前に行われていた対面での回収の収集率はどれくらいだったか教えていただきたい。

○小木曾 友亮 (学園祭実行委員会)

対面集金時の回収率については、例年の資料を参考にすると 93%、9 割始めくらいになっている。

○カーニー 晴希 (教育学類)

学園祭分担金について、2400 円または 3600 円を集金日に持ち合わせていない新入生が一定数いる可能性があると考えられるが、分担金について集金日よりも前に新入生に対して連絡を行う手段について、現時点で考えているか。

○小木曾 友亮 (学園祭実行委員会)

現在学園祭実行委員会副委員長および新入生歓迎特別委員会の方で調整して、郵送で資料やチラシを配布しようと考えている。また、学生生活課と調整中だが、Web 上に学園祭分担金のチラシを掲載して、そちらで周知したいと考えている。

○近藤 拓末 (議長)

その他に質問等ある方は手を挙げていただきたい。

○植木 直生 (応用理工学類)

学園祭分担金を納入していない学生が所属する団体の学園祭への参加を拒否する場合があると補足のところに書いてあるが、これまでこうした措置がとられたことはあるのか伺いたい。

○小木曾 友亮 (学園祭実行委員会)

今情報を持ち合わせていないが、現在委員会内の担当に調整して、企画の構成員を把握してそちらと照らし合わせて行うという方向に進んでいる。

○近藤 拓末 (議長)

その他質問等ある方は手を挙げていただきたい。19時19分までに質問等がなければ、質疑応答を終了する。

○近藤 拓末 (議長)

19分になり質問等がないので、採決に移る。

投票の流れは省略

○近藤 拓末 (議長)

開票する。本日の出席者数が42名、投票者数が41名、賛成が40票、保留が1票で、過半数の賛成を得られたので、本件は承認された。

○近藤 拓末 (議長)

では、続いて議題2について、議題提出者の桑原に説明をお願いする。

○桑原 侑 (副議長)

議題2の全代会における選挙に関する全代会内規程の制定について議案を提出した副議長の桑原である。まず、資料00をご覧いただきたい。全代会における選挙の運営に関して、全代会の運営規則の改正およびその選挙細則を制定しようと考えている。その是非を皆様に問いたいと考えている。全代会の運営規則の改正案については資料01、選挙細則の案については資料02をご覧いただきたい。運営規則の改正案については、選挙細則を制定するにあたって、その参照を運営規則に記載しようとするものである。

資料02に記している選挙細則については、全代会における選挙の公正性の保証、および具体的な基準を定めることによる選出手続きの明確化を図るものである。

全代会の運営規則は上部規定である学長決定や役員会決定にも関係あるものなので、資料03、資料04に添付してある。これらを参照していただいた上でご判断をいただきたい。私からは以上である。

○近藤 拓末 (議長)

議題説明ありがとうございます。では質問等ある方は手を挙げていただきたい。19時40分までに質問等がなければ、質疑応答を終了する。

○近藤 拓末 (議長)

40分になった。確認漏れはないか。挙手等がないようなので、投票に移る。

投票の流れは省略

○近藤 拓末（議長）

それでは開票する。本日の出席者数が42名、投票者数が38名、賛成34票、保留4票で、本議案は保留になった。

○近藤 拓末（議長）

全代会の規則によって、議案が保留または否決になった場合は、その保留または反対に投票した人に意見を聞くことができる。議題提出者からその申し入れがあったので、保留または反対に投票した方のうち、その理由がある方は挙手またはリアクションをお願いする。

先ほどの発言を訂正する。全代会内部規則において第18条、本会議における議案の発議者は議員に対し表決の理由を問うことができる。問われた議員は表決の理由を述べなければならないと定められている。従って、議案発議者は各議員の採決に対し、その表決の理由を問うことができる。

では、その上で保留に投票した方は、その理由を述べていただきたい。

○榎本 陽子（知識・情報図書館学類）

今回議案を提出されたという内容だが、事前の知識や、どういう点においてこの議題を話し合っていいのかというところが、私の力不足な点もあるが、団体内での議論が不十分だと感じたため、今回保留を選択させていただいた。今回議案を提出されたという内容だが、事前の知識や、どういう点においてこの議題を話し合っていいのかというところが、私の力不足な点もあるが、団体内での議論が不十分だと感じたため、今回保留を選択させていただいた。

○近藤 拓末（議長）

質問ありがとう。その他保留に投票された方はリアクションもしくは文面でコメントをお願いする。

○木下 溪花（社会学類）

私も保留に投票させていただいたが、資料が上がっていたのに気づかず、確認が遅れたということもあり、私の中でこの議題が提案された背景などが理解できず、またこの内規に関わる議論ではあるが、この対面での出席人数が少ないとことからも、もう少し深い議論や説明が必要かと考え、保留とした。質問する必要があったならば申し訳ない。もし可能であれば、今からでも制定された背景や経緯等を説明していただければと思う。

○桑原 侑（副議長）

議案提出者の桑原である。こちらは改正の背景および選挙細則の制定の背景についてだが、まず今年度の議長団選挙において、主にこの全代会についてという運営規則に沿って議長団選挙が行われていたが、その規定では特に副議長選挙において手順が不明瞭であった。

また、基本的に本会議の中で議長団選挙が行われるわけだが、公平性などの観点から本会議の運営と選挙の実施を分けて進行しなければない。したがって、別で選挙管理委員会を立てる方が良いという話になっていた。

それで、議長団選挙に関する諸々のことの再定義や、これまでの運営規則においては不明瞭であったものを明確にした上で、改めて選挙細則という形で定義し直すということを行うために、今回提出させていただいたものである。

○木下 溪花（社会学類）

確認だが、それは選挙手続きを明確にするためということで詳しく記載するということだと思うが、特に手続きの内容自体に変更はないという認識でよいか。

○桑原 侑（副議長）

基本的に手続きに変更はない。これまでの流れとほとんど同じ形で選挙を実施する。主体がこれまでの総務委員会というものではなく、選挙管理委員会というふうに主体が変わる程度のものである。

○木下 溪花（社会学類）

私は総務委員長も務めているが、今まで選挙管理を務めていた総務委員会に事前の相談がなかったと思うが、そこら辺の認識はどのようになっているか。

○桑原 侑（副議長）

確かに、事前の相談がなかったという、相談が不足していたというのは認めざるを得ないと考えている。申し訳ない。

○木下 溪花（社会学類）

総務委員会としても気がつかず申し訳ない。以上の説明を踏まえた上でも保留という判断でお願いする。

○近藤 拓末（議長）

医学類代表相川からのメッセージを代読する。

○相川 大惺（医学類）

個人的な理由になってしまふが、学長決定および副学長決定に従うという文言を消すことにより、何か問題が起こる可能性がないかという点について検討しきれなかったため、保留とした。

○近藤 拓末（議長）

その他挙手等がないので、これで議題についても議事を終了する。

○近藤 拓末（議長）

では、本日の議題は全て終了した。1年間本当にありがとう。

○近藤 拓末（議長）

委員会報告を開始する。委員長はいつも通りお願いする。オンラインの委員長はいつも通りコメントのところに書いておいていただきたい。

○木下 溪花（総務委員会）

総務委員長の木下である。秋学期が終わった後も頑張っていただきありがとう。3点連絡がある。

1点目は新歓費についてである。こちらは全代会新歓のためだが、総務委員会で新歓への監査をしているので、私から連絡する。全代会構成員は来年度に向けた新歓活動のために1人一口1000円以上を新歓費として徴収している。お金は各委員長の方に集めていただき、まとめて総務委員会に4月に提出いただく。ご協力を願いたい。

2点目は全代会室の掃除についてである。明後日の2月21日金曜日の13時から全代会の掃除をする。大規模な掃除で、過去のものなどは処分するかもしれないが、何か捨てられて困るものが部屋にある方は事前にお願いする。全代会室にある私物等は持ち帰っていただけると大変助かる。全代会総務委員会でしか現状集まらなさそうなので、もし興味ある方は協力してくれたら嬉しい。

3点目は情報部門から田口の代理で報告する。全代会構成員の交代があり、来年度学類等代表を務める若しくは専門委員で残るを含め、現構成員委員全員が回答する継続フォームが後日配布される予定なので、配信した際には全委員回答するようお願いする。

○國崎 沙和子（学内行事委員会）

先ほどは議題の承認ありがとうございます。寒い中、長時間お待たせして申し訳ない。

学内行事委員会は一応ミーティング自体を終えている。学類新歓の方で動き始めているので、春休みの間も精力的に活動することになると思う。学内行事委員会の方はご協力のほどお願いする。

本会議で今年度中の本会議は終わると思うが、学内行事委員会は毎回お世話になっていた。ありがとう。

○高橋 蓼 (生活環境委員会)

全体への連絡はないが、生活環境委員会の人は明日ミーティングがあるので、参加よろしくお願ひする。

○植木 直生 (調査委員会)

調査委員会としては「夢を語る会」実施に向けてワークシート作成を行った。近々、全代会内および学園祭への出店を考えており、全学的なイベントにできたらと思うので、全代会内で開催する場合は、ぜひご参加いただきテストプレイにご協力いただきたい。

○榎本 陽子 (広報委員会)

キャンパス誌を何とか今日中に次号を制作して提出することができた。

今現在、活動できている人数が少なくなっていて、もしかすると他の構成員の方に寄稿をお願いすることが今後あるかもしれないが、その場合はなるべく協力していただけると助かるので、協力の方よろしくお願ひする。

広報委員会あてには一応 20 時 30 分ぐらいに予約投稿で、来週の月曜日、対面で委員会したいという連絡を流すので、もし来られる方がいらっしゃったらアクションの方よろしくお願ひする。

○吉川 桢 (国際特別委員会)

国際特別委員会である。特に報告することはないが、海外研修に参加する人は参加費を出してほしい。

○近藤 拓末 (議長)

委員会報告ありがとう。

まず 1 年間、毎月この教室で対面・オンラインで出席ありがとう。本当に最後まで流会することなくできたのは本当に嬉しく、本当に様々な方の助けがあって達成できた。まずは皆さん本当に来てくださったことが一番何よりありがたかった。

次の学類等代表の選出責任者になっている方がいると思う。次の学類等代表の選出までしてもらって、最後、学類等代表の活動終了となるので、そこまでご協力をいただければと思う

よろしくお願ひする。

以上、総務委員会作成